



●ガラス内側に取めたヘッドライト2灯と行先表示、幕板部を上延長して雨樋と外板が一体化になった張り上げ形状の屋根や、下段固定式、上段2分割開閉式となったドア間の側窓など、JR西日本の30N更新車の車体を各形式新規で製作しています。さらに、両先頭車床下も新たに製作し、ATS-Pの機器箱を再現しました(上写真、矢印)。なお、銀色の側面窓枠はドアステップと共に車体に印刷しています。

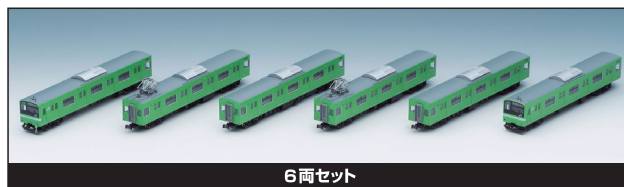


●リムの銀色を再現したヘッドライトは電球色の、テールライトは赤色の、前面表示は白色のLEDで点灯します。この前面表示は印刷済みパーツによる選択式とし、行先はLED式の「JR難波」を、運行番号は「77A」を装着済みとし、交換用に各種の表示を揃えています(*1・2)。また、運転台屋根上の列車無線アンテナ、信号炎管は別パーツを取り付け済みとし、両形式で形態が異なる強化型スカートとジャンパ線受け、カプラー横の空気配管を再現、クハ201形のジャンパホースとジャンパ絡めは別パーツを付属しています。なお、クハ201形、クハ200形いずれもダミーカプラーを装着、各形式の連結面側には、オプションによるボディマウント式密結形TNカプラー(SP)の取り付けに対応しています。

(*1) 行先表示 LED式「快速 JR難波」「柏原」「王寺」「奈良」「おおさか東線 新大阪」「おおさか東線 久宝寺」
幕式「大和路線 JR難波」「柏原」「王寺」「奈良」「おおさか東線 放出」「おおさか東線 久宝寺」
(*2) 運行番号表示 61A・62A・65A・66A・67A・68A・69A・71A・72A・73A・74A・76A



●モハ201形屋根上に載るオリジナルのPS21形パンタグラフ、車体中央からずれた位置に取り付けられたWAU709形クーラー、そしてベンチレーターが撤去された30N更新車の屋根上を再現しています。また、この新規製作の屋根では、同クーラー脇に残る元のAU75形クーラーの取り付け座も模しています。なお、連結面側の貫通ドアは縦長の窓形状を再現しています。



6両セット

1979(昭和54)年に登場した201系は、国鉄初の「省エネ電車」として開発、製造された通勤形電車で、国鉄で初めてチョッパ制御を採用、黒い鋼製パネルをはめ込んだ前面窓周りや、Hゴムを使用しない側面など、国鉄通勤形電車のイメージを大きく変えました。関西地区では1983(昭和58)年から京阪神緩行線などで運用を開始、2003年から2008年にかけて車齢の延長と接客設備向上を目的に、「体質改善30N」と称したリニューアル工事を実施し、内外共にその姿を変えました。

トミックスでは「オレンジファミリー」の中央線、「スカイブルー」の京葉線に続き、「ウグイス色」の関西本線(大和路線)・おおさか東線の201系を新たにラインナップいたします。このモデルでもモーター車にはM-13モーターを使用したフライホイール付き動力ユニットを搭載、その他の各車には新集電システムを採用し、全車に黒色車輪を使用しています。また、先頭車前面と側面のJRマークは印刷済みとし、転写シート(車体番号[8編成分]、ATS標記、弱冷房表示、乗務員ドア下部の手掛けなど、写真では未貼付)に加えて、前面表示(行先・運行番号)パーツを付属します。

201系

JR西日本30N更新車・ウグイス

■ JR 201系通勤電車
(JR西日本30N更新車・ウグイス)セット(6両)
<98813> 予価¥21,340(税込)

JR西日本商品化許諾済 **4月発売予定**